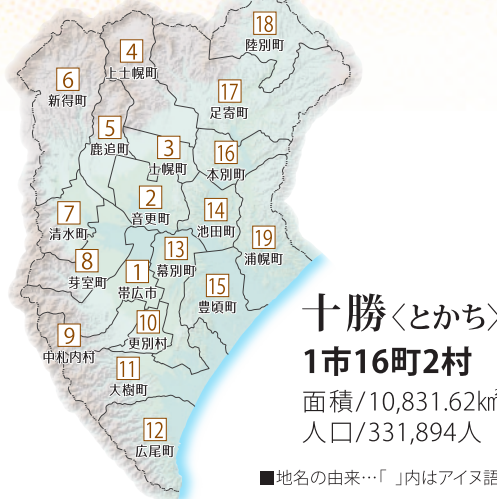


管内市町村の概要



十勝くとかち
1市16町2村
 面積/10,831.62km²
 人口/331,894人

■地名の由来…「」内はアイヌ語

1 **帯広市**
Obihiro City

●面積 / 619.34km² ●人口 / 165,047人
 十勝圏の中核都市として豊かな自然環境と快適な都市機能とが調和する田園都市。また「食と農林漁業」を柱とした地域産業政策「フードバリューとから」を十勝全体で推進している。R2に日本で初めて大学構内に酒蔵「碧雲蔵」が開設。世界で唯一の「ばんえい競馬」開催や「お菓子のまち」しても有名。平成20年に環境モデル都市に認定され、低炭素社会の構築に向けた取組を行っている。
 ■地名の由来「オベレレケブ」(川尻がいくつにも分かれている川の意)から転訛。
 ■観光名所/ばんえい競馬、幸福駅・愛国駅、紫竹ガーデン、八千代公共育成牧場、岩内仙峡、緑ヶ丘公園、北の屋台・十勝乃長屋、真鍋庭園、おびひろ動物園など。

2 **音更町**
Ofutsu Town

●面積 / 466.02km² ●人口 / 43,483人
 日本有数の生産量を誇る小麦や豆類などを育む肥沃で広大な耕地と、美しい自然に恵まれた緑豊かなまち。北海道遺産に選定された「モール(植物性)温泉」で知られる「十勝川温泉」などがある。道の駅おとふけ「なつぞらのふる里」が道東道音更帯広に付近に移転オープン。また、全道2か所で最も人口が多い「全道一の町」である。
 ■地名の由来「オトブケ」(毛髪が生ずるという意味)から転訛。
 ■観光名所/道の駅おとふけ、道の駅ガーデンズパオ十勝川温泉、十勝川温泉、十勝が丘公園(花時計「ハナツク」)、十勝が丘展望台(シーニックカフェ)、十勝牧場展望台、白樺並木、道立十勝エコロジーパークなど。

3 **士幌町**
Shihoro Town

●面積 / 259.19km² ●人口 / 5,946人
 畑作、酪農、畜産などが盛んで、面積の約60%が農用地という全国有数の農業のまち。特にじゃがいもの加工施設は国内有数で、生産者選定用の限定商品であるポテトチップスが有名。高校生と地元企業が共同で地場産品を使った商品開発を行い、道の駅の人気商品になっている。また、地元高校では様々な農産物の認証取得を目指しており、生徒が農業生産や地域活動において活躍している。
 ■地名の由来「シウウオロー」(広大な土地の意)から転訛。
 ■観光名所/道の駅ピア21しほろ、道の駅しほろ温泉、士幌高原ヌカの里(水芭蕉園)、美濃の家・伝統農業保存伝承館、朝陽公園水タルの里、士幌鉄道記念公園(士幌交通公園)など。

4 **上士幌町**
Kamishihoro Town

●面積 / 694.23km² ●人口 / 4,935人
 大雪山国立公園内の糠平湖を取り囲む森林と山岳美、日本一広い公共牧場であるナイタイ高原牧場に加え、熱気球の町としても有名。移住定住を推進し、ふるさと納税を活用した子育て支援に取り組んでいる。また、バイオガス発電によるエネルギーの地産地消がSDGs表彰を受けているほか、令和4年4月に脱炭素先行地域に選定された。旧国鉄士幌線のたわすべつ川橋梁は北海道遺産であり季節によって姿を変える橋の構として人気。
 ■地名の由来「士幌村」から分村の際、士幌川の上流に位置することから名付けられた。
 ■観光名所/道の駅おとふけ、ぬかびら源泉郷、糠平湖、三回峠、ナイタイ高原牧場、ひがし大雪自然館、旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群(北海道遺産)など。

5 **鹿追町**
Shikaoi Town

●面積 / 402.88km² ●人口 / 5,228人
 道内で最も標高が高く幻想的な然別湖を有し、「くとかち鹿追ジオパーク」は他に見られない「凍れ(しばれ)」という特徴を持つ、国内最大規模と活用してマンゴー栽培、チョウザメ養殖事業などを行っており、令和4年4月に脱炭素先行地域に選定された。また、バイオガスから水素を生成し車両に充填する道内で初めての固定式のステーションがあり、町内で水素燃料車利用されている。
 ■地名の由来「ククケウシ」(シカ捕り欄のあるところの意)の和訳から。
 ■観光名所/道の駅しかおい、道の駅つりまく、神田日勝記念美術館、然別湖、東雲湖、鹿追町ライティングパーク、くとかち鹿追ジオパーク、福原山荘など。

6 **新得町**
Shintoku Town

●面積 / 1,063.83km² ●人口 / 5,668人
 農業、林業を主産業とするまち。町立女性専用農業体験実習施設レディスファームがある。特産品は良質なそばの産地ならではの新得そばをはじめ、ナチュラルチーズ、鹿肉、新得地鶏、そば焼酎など。狩勝高原を中心に、乗馬、スキー、ラフティングなどを楽しめるリゾート地でもある。手話の理解を広めるため、町村では全国初の「手話に関する基本条例」を施行した福祉のまち。
 ■地名の由来「シントク・ナイ」(山の肩・端)、「シントク」(酒造りの漆器)から転訛。
 ■観光名所/トムラウシ温泉、狩勝峠、旧狩勝線跡、くったり温泉、十勝サホロリゾート(ペア・マウンテン)、そばロードなど。

7 **清水町**
Shimizu Town

●面積 / 402.25km² ●人口 / 9,157人
 日勝峠の東側に位置するまちで、「日勝峠展望台」などの眺めの良い場所が多く存在する。地元産のブランド牛と地元産鶏卵を使用したご当地グルメ「十勝牛ステーキ丼」が人気。また、第6次産業化にも力を入れており、有機肥料で育てた地元産にんにくを使用し、町内で加工した「黒にんにく」が有名。
 ■地名の由来「ベケベツ」(きれいな川の意)の和訳から。
 ■観光名所/日勝峠展望台、美夢パラマーカー、清水山円山展望台、十勝千年の森、清水公園(展望パークゴルフ場)など。

8 **芽室町**
Mamuro Town

●面積 / 513.76km² ●人口 / 18,181人
 スイートコーンの作付面積・生産量ともに日本一のまちで、十勝芽室コーン炒飯がご当地グルメ。近年落花生の生産も盛んで、落花生の産地化を目指している。ゲートボール発祥の地。また、芽室サイクルツーリズムでは地元ガイドと共に巡る散走が行われている。新嵐山では再整備が進められており、敷地内にはワイナリーが建設され、町内産ブドウのワイン醸造などに取り組んでいる。
 ■地名の由来「メム・オロベツ」(わき水のころの川の意)から転訛。
 ■観光名所/新嵐山スカイパーク展望台、芽室公園(花菖蒲園)、ふるさと歴史館ねりん、めむろみのりーむ、メムロスキー場、10線防風林など。

9 **中札内村**
Nakasatsunai Village

●面積 / 292.58km² ●人口 / 3,913人
 日高山脈中央部を源とする清流「札内川」流域に広がる、「花と緑とアートの村」、グランピング施設やドイン休暇村スタイルの長期滞在型コテージが整備され、美しい農村景観と美術館などの見どころや、枝豆や卵などの農産物を求め、多くの観光客が訪れている。「日本で最も美しい村」連合に加盟している。
 ■地名の由来「サチナイ」(乾いた川の意)から札内川の中流に位置するので「中」を冠した。
 ■観光名所/道の駅なかさつない、札内川園地(ピョウタン)の滝、一本山展望タワー、六花の森、六花亭アートヴィレッジ中札内美術館、豆資料館(ビーンズ邸)、花畑牧場など。

10 **更別村**
Sarabetsu Village

●面積 / 176.90km² ●人口 / 3,177人
 農家1戸当たりの経営面積、トラクター所有台数が国内最大級。道内初のキャリア5Gの基地局が整備された村で、スマート農業先進地。村内にあるどんぐり公園すももの里は約3haの広大な敷地に、1,000本を超えるすももの木が春の訪れを告げる。農産物とすももの加工品が人気。
 ■地名の由来「サラ・ベツ」(葦・茅の生い繁るところの意)に更別の漢字を当てたもの。
 ■観光名所/道の駅さらべつ、十勝スピードウェイ、どんぐり公園(プラムカントリー)、さらべつカントリーパーク、更別農村公園など。

11 **大樹町**
Taiki Town

●面積 / 815.67km² ●人口 / 5,423人
 北海道に「宇宙版シリコンバレーをつくる」という目標を掲げるまち。町内のロケット射撃場、民間企業単独で開発・製造したロケットが打ち上げられている。今後は更なるスペースポートの整備が予定されている。過去何度も大くくり公園として選ばれている「摩舟川」では、砂金堀体験やカヌー下りを楽しめる。
 ■地名の由来「タイキウシ」(森林が繁茂するところの意)から転訛。
 ■観光名所/道の駅コスモール大樹、宇宙交流センターSORA、晩成温泉、カムイコタン公園キャンプ場、坂下仙峡、十勝ホロカヤント一瞥六群など。

12 **広尾町**
Hiroo Town

●面積 / 596.41km² ●人口 / 6,359人
 十勝の海の玄関である重要港湾「十勝港」とともに発展してきた。ノルウェーオスロ市から、国内唯一の「サンタランド」として認定されている。「国道336号沿いには、道路脇を直接流れ落ちる「フンベの滝」がある。しゃもやカニをはじめとする豊富な海産物と農産物が楽しめるまち。フンベ海岸は、サーファー間で人気の日本屈指のサーフスポット。
 ■地名の由来「ビルリ」(ピは石が転がる、リイは砥石がとれる地の意)から転訛。
 ■観光名所/ひろおサンタランド(大丸山森林公園)、日高山脈燦爛園、十勝神社、シーサイドパーク広尾、フンベの滝、黄金道路など。

13 **幕別町**
Makubetsu Town

●面積 / 477.64km² ●人口 / 26,273人
 「パークゴルフ」発祥の地。ナウマン象の化石骨が発掘された地としても知られている。町内各地の小高い丘に「シーニックカフェちゅうりゅう」「明野ヶ丘公園」展望台タワー、「丸山展望台」等が整備され十勝平野の雄大な景色を見ることが出来る。また、多くのオリンピック選手を産んでいる「オリンピックのまち」としてスポーツを通じて交流するまちづくりを進めている。
 ■地名の由来「マクンベツ」(山の方にある川)の意)から転訛。
 ■観光名所/道の駅忠類、明野ヶ丘公園(ピラリ)、十勝ヒルズ、フロンティア通り、忠類ナウマン象記念館、魚道観察室ととろーど、幕別町ふるさと館、忠類白銀スキー場など。

14 **池田町**
Ikeda Town

●面積 / 371.79km² ●人口 / 6,288人
 全国初の自治体ワイン・十勝ワインを製造し、ワインツーリズムの先駆けとなった「池田ワイン城」がリニューアルされ、製造工程の見学エリアや物販スペースが拡充された。また、地域独自のワイン用ブドウ「山幸」が国際品種に登録された。町内で肥育から加工処理まで行われる「いけだ牛」が人気。
 ■地名の由来/池田侯爵が開墾した池田農園の名称をとり池田とした。
 ■観光名所/ワイン城、千代田堰堤、DCTGardenKEDA、十勝まきばの家、清見ヶ丘公園、池田町郷土資料館など。

15 **豊頃町**
Toyokoro Town

●面積 / 536.71km² ●人口 / 3,031人
 十勝川の最下流に位置する十勝発祥の地。樹齢約150年の「はるにれ」がまちのシンボルで、1月中旬から2月下旬に最大の大津海岸で見られる「ジュエリーアイス」は近年人気が高い。二宮尊純(二宮尊徳の孫)を開拓の祖とし、道内唯一全国報徳研究市町村協議会に加盟しており、全国16市町村と連携しながら、「報徳のおしえ」を継承し互産互生事業を行っている。
 ■地名の由来「ト・エ・コロ」(大きなふさの意)から転訛など諸説あり。
 ■観光名所/はるにれの木、炭岩山自然公園、湧洞河、長節湖、および物産直売所、大津海岸(ジュエリーアイス)など。

16 **本別町**
Honbetsu Town

●面積 / 391.91km² ●人口 / 6,545人
 本別生まれの「中生光黒大豆」を使った加工品のブランド「キレイマメ」を全国へ発信する豆のまち。毎年9月には最大のイベント「きらめきタウンフェスティバル」が、1月下旬には節分をテーマに2トンの豆が撒かれる「豆まかナイト」が開催されている。市街地近くには高速道路のIC、JCTがあり、道東の交通の要所となっている。足寄町、陸別町と三ツ町商會を立ち上げ道の駅の連携強化を行っている。
 ■地名の由来「ボン・ベツ」(小さな川の意)から転訛。
 ■観光名所/道の駅アステラ★ほんべつ、義経の里 本別公園、幽仙峡、本別町歴史民俗資料館、神居山展望台など。

17 **足寄町**
Ashoro Town

●面積 / 1,408.04km² ●人口 / 6,545人
 林業と農産物を主産業とする、放牧酪農推進のまち。町内に自生する、栄養豊富な川の水によって高さ2~3mになる巨大なフキ「鰻湾(らわん)フキ」は、北海道遺産に登録されている。道の駅あしよろ銀河ホール21は平成29年度に国土交通省からモデル「道の駅」(地域交通拠点部門)に認定され、地域の公共交通の拠点として活用されている。町民や観光客から採取した足型が町内歩道に敷設されている。
 ■地名の由来「エシヨロ・ベツ」(沿って下る川の意)から転訛。
 ■観光名所/道の駅あしよろ銀河ホール21、阿寒周回国立公園オンネトー、オンネトー湯の滝、足寄動物化石博物館、白藤の滝、雌阿寒温泉、芽登温泉、錦沼、里見が丘公園など。

18 **陸別町**
Rikubetsu Town

●面積 / 608.90km² ●人口 / 2,279人
 酪農と林業が基幹産業で、夏と冬の寒暖の差が70度にもなる日本一寒い「しばれ」のまち。72歳で徳島から入植した開闢者を開拓の祖として讃える。寒さを体感するイベント「しばれフェスティバル」は全国的にも有名。「星空」では美しい街10選に認定されており、星とオーロラが観測できる。「リくべつ」鉄道は運転体験が人気で、国内最長コースには全国から鉄道ファンや家族連れなどが多く訪れている。
 ■地名の由来「リクンベツ」(高いところにある川の意)から転訛。
 ■観光名所/道の駅オーロラタウン93りくべつ、ふるさと銀河線りくべつ鉄道、銀河の森天文台、開闢者資料館、陸別サーキットなど。

19 **浦幌町**
Urahoro Town

●面積 / 729.85km² ●人口 / 4,416人
 十勝最東端に位置し、町の面積の約74%を森林が占めている林業と畜産のまち。海岸線には自然の花畑である「豊北原生花園」や広大な太平洋を見下ろせる「尾刈石海岸」などもあり、自然豊かなまち。「うらほろ留真温泉」はアルカリ性の高い泉質を持ち、良質な温泉として評判。また、子どもの教育や町の活性化に官民一体となって取り組む「うらほろスタイル」が注目されている。
 ■地名の由来「オウラホロ」(川尻に大きな葉が生ずる所の意)から転訛。
 ■観光名所/道の駅うらほろ、うらほろ森林公園、うらほろ留真温泉、昆布列石展望台、豊北原生花園、Uralap park urahoro、十勝オコッベ遺跡など。

面積：令和4年全国都道府県市区町村別面積調(令和4年10月1日現在)(国土地理院)
 人口：住民基本台帳人口(令和4年1月1日現在)(北海道総合政策部地域行政局市町村課)